

1. 件名：福島第一原子力発電所における 1/2 号機排気筒解体工事に係る面談
2. 日時：令和元年 10 月 4 日（金）17 時 00 分～17 時 50 分
3. 場所：原子力規制庁 9 階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

知見主任安全審査官、田上係員、高木技術参与

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクト計画部 担当 2 名

5. 要旨

東京電力ホールディングス株式会社から、1/2 号機排気筒解体工事の 2 ブロック目の解体に係る振り返り結果について、資料に基づき説明があった。

- 切断に時間を要した主要因について
 - ✓チップソーの噛み込みが発生したこと
 - ✓チップソーの交換頻度が高かったこと
- 主要因が発生した原因と対策
 - ✓筒身の変形・揺れにより解体物の自重が切断面にかかりチップソーの刃が圧縮された
 - 噛み込みが発生した場合、切断面が開きやすくなるよう、ドリルシャックリングを 3 か所にして、筒身を上方へ引き上げる
 - ✓筒身の変形により筒身が切断されると歪みが生じ面外方向にずれが発生することで曲げ応力が生じた。また、筒身の変形・揺れにより刃先と筒身が垂直になっていないことで刃がせり、圧縮された。
 - チップソーで筒身にミシン目をつくるように切断を行う
 - ✓筒身に対してチップソーの進入長さを一定にして切断していたため、チップソーの刃の摩耗に偏りがあった
 - 刃の進入長さを変えながら切断を行うことで刃を満遍なく使用する
- 原因分析を踏まえ見直した後の切断手順

原子力規制庁は、上記の説明内容を確認した。

6. その他

・資料：

- 福島第一原子力発電所 1/2 号機排気筒解体工事の 2 ブロック目解体振り返りについて